

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(749)2212
担当部課名	土木部	南土木事務	所	道路補修
事務事業名	交通安全施設整備事業		事業コード	32210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりある道路の整備	12
施策名	第1施策	人にやさしいみちづくり	年度

2 実施根拠及び関連法令等

道路法第30条（道路の構造の基準）、道路構造令第31条（交通安全施設）

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
市民を交通事故から守るため、道路や交通安全施設の整備充実に努め、交通安全対策を行う。		南部地域内のすべての道路利用者	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
交通安全施設整備事業 カーブミラー設置工事 事業費16046千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	カーブミラー設置要望に対する設置率		
指標式	設置数/設置可能件数×100		
指標設定の意図	南部地区内のミラー設置による危険箇所の解消		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標		118	a 113	b 100	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算（予算）額	15,711	16,046	17,000	16,131
	人員・時間数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費				
	合計	0	19,921	20,256	21,210
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 113.0%	
A ▼	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
	$\frac{a}{b} = \frac{113.0}{100.0} \times 100 = 113.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由:			
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価	A:適応している	理由: 車社会の発展に伴い、生活レベル道路での交通需要が増加し市民の交通安全対策の頻度は増加している。	
A ▼	B:一部適応していない		
	C:適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価	A:妥当である	理由: ここ数年、設置要望件数と設置箇所数が同数に近く、効率性が高いと思われる。	
A ▼	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価	A:代替の可能性ない	理由: 道路法で市道の管理は、交通安全施設も含めた道路全体の管理であり市が行うべきものである。	
A ▼	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価	A:満足できる	理由: 交通安全施設に対する市民の関心は高く、併せて要望件数も年々増加の傾向にある。	
B ▼	B:一部満足できない		
	C:満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価	A:有効である	理由: 安全でゆとりある道路整備の実現を目指す上では、きわめて有効且つ効果的な事業である。	
A ▼	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 道路構造や道路交通法の関係で規定されるため規定以上の効果はない。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 抜本的な整備である交差点の改良に比べれば事業効果が大きくこれ以上のコストの改善余地はない。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	南部地区で今後も市に帰属若しくは寄付で増加する市道延長を考慮すれば本事業の必要性は高く上位計画の施策実現に必要な不可欠な事業である。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--